衆議院議員

# 宮本徹

# 国会通信

2018年10月 (N022)



宮本徹事務所
東村山青葉町2-29-2
TEL042(391)4139
FAX042(395)7069


## 県知事に　玉城デニーさん

９月３０日に投開票がおこなわれた県知事選挙では、翁長知事の意思を受け継ぐ玉城デニーさんが、知事選史上最多の３９万票を獲得し、勝利しました。

辺野古新基地建設に反対する揺るがぬ民意が示されました。政府は「辺野古は唯一」と壊れたレコードのように繰り返すのではなく、民意に真摯に向き合うべきです。新基地建設は断念し、普天間基地の無条件閉鎖を求め、アメリカ政府と交渉する立場にたつべきです。重ねられる南北首脳会談、二度目の米朝首脳会談の発表など、朝鮮半島情勢の大きな平和への動きの中で、辺野古新基地建設の「根拠」は崩れています。

玉城デニーさんは、議員会館では、同じフロア、会議室をはさんでとなりでした。「オール沖縄」に連帯してがんばります。

### 辺野古新基地問題で野党合同ヒアリング

沖縄県が辺野古の埋め立て承認を「撤回」し、現在、工事はストップしています。ところが、会場には、立ち入りのできない広大な「臨時制限区域」が海に設定されたままで、調査もできない状況です。ただちに縮小すべきです。

## 受験生に朗報　入学者数超過罰則強化見送り

文部科学省が、年々厳しくしてきた私学助成カットとリンクした大学入学者数超過の罰則について、来年度の罰則強化は見送ることを発表しました。

安倍政権がすすめてきたこの「定員管理厳格化」政策で、この３年間で、主要な大規模大学だけで、3.8万人も合格者数が減っています。

受験競争はこの３年、どんどん激烈になり、少子化なのに浪人生が増え、悲鳴の声が、受験生とその家族、高校関係者からあがっていました。

この問題は、私が今年５月に決算行政監視委員会で取り上げ、林文部科学大臣からは「どういうことが実際起きているかということをふまえ、適切に措置を講ずる」と答弁あったもので、今回の措置となりました。

### 浪人生からも感謝の声

「今年の受験で失敗し、現在予備校で浪人生活をしている者です。文科省の方針を到底容認できず憤りを感じていました。事態の悪化が免れたことだけでも嬉しい限りです。本当にありがとうございました。」

# スルガ銀、シェアハウス投資被害者の救済を

「１０年間家賃保証」をうたった事実上の詐欺で、賃料収入予測や物件価格が水増しされたことを知りながら、スルガ銀行が主にサラリーマンらに、平均１億３０００万円の融資をおこない、多くの方が巨額の負債に苦しんでいます。

春に国会で、被害者から提供された改ざんされた融資資料などを示しながら、立ち入り検査と行政指導を求め、その後、金融庁が検査に立ち入りました。９月、スルガ銀行の第三者委員会の報告では、スルガ銀行が組織的に不正融資をおこなったことが認定されました。しかし、被害者の具体的な救済がどこまでおこなわれるのか、はっきりしません。

私は、金融庁に対して、スルガ銀行の第三者委員会の報告もふまえ、業務改善命令の中に被害者救済にスルガ銀行が責任をおうことを盛り込むよう求めているところです。

# 「幼児園をつぶさないで」政府交渉に同席

政府が具体化をすすめる「幼児教育の無償化」の対象外とされた幼稚園類似施設などが、存続の危機に直面しています。こうした施設は、全国各地、都内各地にあります。各地の園の園長さんや父母のみなさんがお互いつながりあい、「園をつぶさないで」と声をあげています。９月２８日には、都内各地の園がよびかけあって、多くが初対面の８園が集まり、約３０人で内閣府や文科省に対して要請しました。私も同席しました。

その場で、園長のみなさんが口々に語ったことは、地域で何十年と愛され必要とされてきたこと、そして、発達障害や外国籍などで認可幼稚園で受け入れてもらえなかったり、なじめなかった子どもが少なくなく通っていることでした。「園がつぶれれば、この子どもたちは行き場所がなくなるではないか」。私も聞いていて、胸がつまる思いでした。

みなさん必死です。地元選出議員をまわったり、ある園は７００筆の署名を集め、またある園は３６００筆の署名をわずか１０日間で集めました。政府の政策で、かけがえのない役割を果たしている幼児教育施設がつぶされる、こんな不条理は許されません。

# オスプレイは撤去を

１０月１日に、オスプレイが横田基地に正式に配備されました。この間、オスプレイは日米合同委員会の合意も守らずに、傍若無人に飛び回り、夜間低空飛行訓練を繰り返しています。オスプレイ撤去を求める政府をつくりましょう。（右、ゲート前集会で抗議）